

事 務 連 絡
令和 5 年 4 月 17 日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

第 2 2 回「聞き書き甲子園」について（依頼）

標記事業は、全国の教育関係者や林業・水産業関係者をはじめ、民間団体・企業の協力を得て、全国の高校生が、「森・川・海の名人」の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法で記録し、社会に広くアピールする取組です。

新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで開催いたしますので、本事業の趣旨を御理解いただき、域内私立高等学校等への周知について御協力頂きますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策により、学校の業務負担が大きくなることが想定される場合には、周知の範囲及び方法について、全ての学校に一律に通知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する等、貴課において必要に応じて御判断していただいてもかまわない旨申し添えます。

<参考>

事業名：第 2 2 回 「聞き書き甲子園」

主催：第 2 2 回聞き書き甲子園実行委員会

（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、
NPO 法人共存の森ネットワーク）

事務局：（特非）共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局

（TEL：03-6432-6580）

※実施要領の内容、推薦方法等に関するお問い合わせは、上記事務局あてに御連絡ください。

<担当>

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

（担当：前原）

TEL：03-5253-4111（内線2092）



令和 5 年 4 月 17 日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

聞き書き甲子園実行委員会

「第 22 回 聞き書き甲子園」について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より「聞き書き甲子園」へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本事業は、農林水産省と文部科学省の連携により、地域の生活様式・文化・伝統・芸能など、今まさに忘れられようとしている山の暮らしや埋もれかけている生業・技能を次の時代に語り受け継ぐため、高校生が「森・川・海の名人」※¹にじかに接し、若者らしいみずみずしい感性と感動とともに、「聞き書き」※²を行う事業として、平成 14 年度から行っております。現在は農林水産省、文部科学省、環境省、（公社）国土緑化推進機構、（特非）共存の森ネットワークの 5 者からなる実行委員会で当事業を主催し、高校生の受け入れと「名人」の推薦に協力いただく市町村（地域）と連携し、実施しております。

本年度「第 22 回聞き書き甲子園」を行うにあたっては、国や各都道府県の方針に従って新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、参加者の安全に十分配慮したうえで開催いたします。

つきましては、域内私立高等学校への周知にご協力をお願いいたします。各学校に配布するポスターおよび募集要項は、5 月 8 日到着予定で各都道府県林務課宛にお送りし、各学校への発送も林務課より行って頂きますので、域内私立高等学校の住所録を林務課までご提供頂きますようお願いいたします。また、域内高等学校への周知にもご協力のほどお願いいたします。なお、各都道府県林務課には、この旨別途、ご連絡させて頂いております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

※ 1 森、川、海にかかわる分野において優れた技や知見をもってその業を究め、他の生活者の模範となっている達人

※ 2 「聞き書き」とは、語り手の話を聞き、その言葉を記録することにより、語り手の技や人柄などを表現する手法

< 本件問い合わせ先 >

NPO 法人共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局（小倉・三木）

TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 MAIL:contact@kikigaki.net

「第22回 聞き書き甲子園」 実施要領

【趣旨】

国土の7割を森林が占め、四方を海に囲まれた日本において、人々は古くから森や海・川の自然を持続可能なかたちで利用し、自然との日常の関わりの中から生活様式・文化・伝統・技能等を育くみ、受け継いできました。

しかし、都市化が進み多くの若者が自然との関わりを失う一方、農山漁村では過疎化・高齢化が進み、農林漁業活動が低迷する今日、先人から受け継がれてきた知恵や生活技術も失われようとしています。

地球環境の保全のため、私たち一人一人の行動が求められている今、私たちは、今まさに忘れられようとしている先人から受け継いできた知恵や生活技術を改めて見だし、地域の生活様式・文化・伝統・技能等を次世代に引き継いでいかなければなりません。

こうしたことから、全国の高校生が、全国に暮らす「森・川・海の名人」を訪ね、名手・名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法を用いて記録し、社会一般に広くアピールする「聞き書き甲子園」を始めました。「森・川・海の名人」への「聞き書き」を通して、地域の自然と人との関わりをより広い視野で捉え、持続可能な社会づくりを担う高校生の育成を目指します。

(注) 令和元年度より、「森・川・海の名人」の推薦と高校生の受け入れ協力する市町村（地域）と連携し実施しています。令和5年度の受け入れ市町村（地域）は下記のとおりです。

岩手県一戸町／山形県庄内町／新潟県村上市(高根地域)／長野県栄村／長野県伊那市／
長野県木祖村／長野県中川村／愛知県豊田市／奈良県曽爾村／島根県邑南町／
大分県日田市／熊本県山鹿市／鹿児島県屋久島町

【主催】

聞き書き甲子園実行委員会

(農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワーク)

【スケジュール】

令和5年

5月10日(水)	募集開始
6月22日(木)	募集締切
7月下旬	参加者決定

※参加決定者及び担当教諭の方へは事務局より直接ご連絡いたします。

8月17日～20日	事前研修(東京)
-----------	----------

8月下旬～11月下旬 取材・「聞き書き」レポート作成（於：全国）
※取材は原則、高校生一人で行います。
12月中旬 レポート提出締め切り

令和 6 年

3月下旬 フォーラム（成果発表会）
※都内での開催を予定。
※グループ発表や高校生と名人による体験談等を通して 1 年間の成果報告を実施。一般公開。

開催にあたっては、国や各都道府県の方針に従って新型コロナウイルス感染防止対策を実施するとともに、下記の基本方針に基づいた感染防止対策を実施します。

《新型コロナウイルス感染症対策 基本方針》

1. 感染防止対策について

聞き書き甲子園における全てのプログラムおよび事務業務を行うにあたっては、以下の基本方針に従い感染防止対策を徹底する。

(1)「3つの密」の回避

密閉空間、密集場所、密接場面という条件が同時に重なることを避けるとともに、3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「ゼロ密」を目指す。

(2)飛沫や接触による感染予防

- ①マスクの着用や咳エチケット等を徹底させ、飛沫感染防止をはかる。
- ②石鹸での手洗い、消毒液の使用などで手指および手が触れる場所の消毒を徹底する。

(3)室内換気やソーシャルディスタンスの徹底

- ①密閉空間にしないよう、こまめな換気を行う。
- ②席の間隔を空ける、人と人の間の距離をとる等、ソーシャルディスタンスを徹底する。

(4)健康状態の把握

- ①参加者及びスタッフは検温を徹底し、健康状態の把握に努める。
- ②発熱などの症状や体調不良の兆候が見られる場合には、自宅待機とさせる。

2. 連絡体制の確立

- ①事前に緊急連絡体制を整備する。
- ②感染の疑いがある者が生じた場合は、接触歴等の情報をまとめ、保健所に相談する。

3. その他

- ①感染拡大により、国や都道府県が緊急事態宣言（あるいは、まん延防止等重点措置）

を発令する場合は、その方針に従う。

②実施内容の変更、延期、中止の判断は、実行委員会が行う。

※新型コロナウイルス感染症対策の詳細についてはホームページ
(<https://www.kikigaki.net/>) をご確認ください。

【募集要領】

1. 参加資格：

参加資格は、高等学校等※に在籍する生徒とします。なお、これまでに「聞き書き甲子園」に参加した経験のある方は、参加いただくことができません。

※定時制、通信制の高等学校、高等専修学校、特別支援学校（盲学校、ろう学校及び養護学校）、フリースクールの高等部等に在籍する生徒も含む。

2. 募集定員：「森・川・海の名人」への聞き書き 計88名（各都道府県教育委員会からの推薦者を含む）

3. 参加費用：無料

下記の費用について、実行委員会が負担します。但し、先生が引率される場合、また保護者の方が同伴される場合の費用は、各自ご負担いただきます。

①事前研修会場（東京）までの往復旅費、宿泊費

②聞き書き実施場所までの往復旅費（2回分）

③フォーラム会場（東京）までの往復旅費、宿泊費

4. 応募方法：

参加希望者は、ホームページ（<https://www.kikigaki.net/>）内の申し込み専用フォームから申し込みいただくか、各学校宛に送付する募集要項の「参加申込書」欄に必要事項を記入し、参加希望動機を書いた作文（400字程度）を添えて、6月22日（木）必着で郵送してください。（「参加申込書」はホームページよりダウンロードすることもできます）

（注）都道府県教育委員会を通して応募する場合は、都道府県教育委員会の締切日に従ってください。また、参加者推薦調書を用いる場合は、一般の参加申込書への再記入は必要ありません。

（注）FAXによる応募は受け付けません。

5. 応募条件

応募には以下の項目を全て満たしていることが条件となります。

①「聞き書き」成果（レポート：5,000字程度）を提出できること。

（レポートを提出いただかなかった場合、実行委員会が負担した経費相当額を返還いただく場合があります）

②事前研修（8月17～20日、東京）に参加できること。

③保護者の同意を得ていること

（参加申込書の「保護者」欄は、原則、保護者の方に記入していただくようお願いします。また、保護者の方の押印がないものは受付できません）

④参加者が取材活動等を行う際のアドバイスや緊急時等における事務局と参加者との間の連絡、調整が可能な担当教諭がいること

⑤参加者の氏名、所属学校名等、学年が公表されることに同意すること

(記者発表資料、ホームページ等で参加者の氏名、所属学校名等、学年を公表することになりますのであらかじめご承知おきください)

- ⑥参加者が自ら作成した「聞き書き」成果(レポート)、取材時に撮影した写真(動画を含む。以下同じ)、描写したスケッチ等について、当事業の普及のために実行委員会がご本人の許可を得ることなく使用する場合があることに同意すること(ホームページ、各種政府広報等で使用)
- ⑦実行委員会等が「聞き書き研修」等の際に参加者を撮影した写真について、当事業の普及のためにご本人の許可を得ることなく使用する場合があることに同意すること(ホームページ、各種政府広報等で使用)

【決定通知】

申込者多数の場合、参加希望動機の作文による選考を行います。選考結果は、7月末までに、参加決定者に対して直接通知します。

【申込み・問合わせ先】

聞き書き甲子園実行委員会事務局(NPO法人共存の森ネットワーク内)

〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-11-26 コスモリヴェール松原 301

TEL:03-6432-6580 E-mail:contact@kikigaki.net HP: <https://www.kikigaki.net/>

「第22回 聞き書き甲子園」参加者推薦調書(※任意)

参加希望者	フリガナ	
	氏 名	
	年 齢 ・ 性 別	満 歳(西暦) 年 月 日生まれ) 男 ・ 女
	住 所 ・ 電 話	〒 - 本人携帯電話番号 ()
	E-mail ^{注1}	
	フリガナ	
	学 校 ・ 年 ・ 組	学校 年 組
	学 校 所 在 地	〒 - 電話番号 ()
交 通 手 段 ^{注2}	自宅▶ ▶東京駅もしくは羽田空港	

注1 「E-mail」欄には、事務局からのメールが受信可能な携帯電話等のアドレスをご記入ください。

注2 研修は東京で開催します。ご自宅からの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)すべてをご記入ください。この情報をもとに参加会場の振り分けとチケット手配を行います。

保護者	生徒保護者氏名	(印)
	住 所 ・ 電 話	〒 - 電話番号(自宅) () 電話番号(携帯) ()
	E-mail	

注 「生徒保護者氏名」欄に押印がない場合は、受け付けることはできません。

教 育 委 員 会 窓 口	都道府県 所属	(フリガナ) 氏名
	部署	電話番号
	役職	FAX番号
		メールアドレス
担 当 教 諭	フリガナ	
	氏名	
*参加者が取材活動を行う際のアドバイスや緊急時等における事務局と高校生との間の連絡、調整をしていただける大人の方。学校の担任や部活動の顧問の先生等。		参加者との関係: <input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 部活顧問 <input type="checkbox"/> その他()
提出締切 ※都道府県ごとにご記入下さい。 ※聞き書き甲子園実行委員会への提出 締切は6月16日(金)です。		6 月 日 ()

☐提出いただくもの: 本推薦調書、本事業への参加動機を書いた作文(400字程度)